

文学

神学

工学

国語国文学

英語・英米文学

独語・独文学

仏語・仏文学

中国語・中国文学

ロシア語・ロシア文学

歴史学

哲学

心理学

宗教学

経営学

経済学

商学

社会学

機械工学

電気電子工学

情報工学

応用化学

生物工学

材料工学

土木工学

建築学

社会システム工学

教育学

社会科学

法学

政治学

社会学

社会福祉学

専門学校・短期大学・高等専門学校・高等学校等専攻科を卒業したら

学士をめざそう！

専門性をカタチに



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

28分野の学士 からあなたの専門にあったものを選べます

理学

数学・情報系

物理学・地学系

化学系

生物学系

総合理学

看護学

栄養学

薬科学

家政学

教養・学芸

比較文化

地域研究

国際関係

科学技術研究

農学

口腔保健学

口腔保健衛生学

口腔保健技工学

商船学

保健 衛生学

体育学

鍼灸学

水産学

芸術学

音楽

美術

演劇

芸術工学

検査技術科学

臨床工学

放射線技術科学

理学療法学

作業療法学

言語聴覚障害学

視能矯正学

柔道整復学

学士の学位取得で大きく広がる選択肢

毎年2,500人程度※の方がこの制度で学士の学位を取得しています。

学士

● 大学院進学

● 大学卒業者と同一スタートラインに立てました。
(学士(保健衛生学)取得者)

● 生涯学習

● 今までの自分の学びを客観的に証明することができました。
(学士(口腔保健学)取得者)

● 就職・転職

● 専門学校の教員になるために学士を取得しようと考えました。
(学士(看護学)取得者)

● 学び直し

● 大学を中退した後、社会に出て学士が必要と感じました。
(学士(商学)取得者)

● 教員免許取得

● 教員免許状1種を取得するために学位取得を目指しました。
(学士(芸術学)取得者)

● キャリアアップ

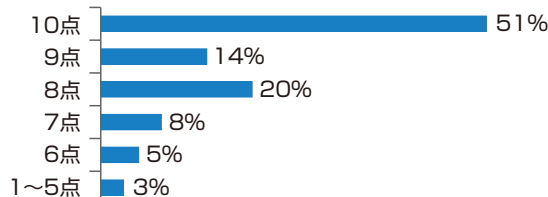
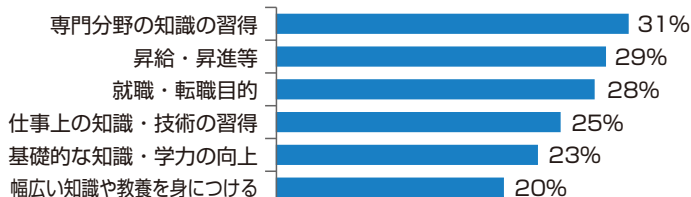
● 指導する立場になったとき、大きな後ろ盾になりました。
(学士(看護学)取得者)

申請の動機

平成30年度4月期～令和4年度10月期
アンケートデータより(複数回答可)

学士取得の満足度(10点満点中)

平成30年度4月期～
令和4年度10月期
アンケートデータより



※平成27年度から設けられた、機構が大学と同等の教育課程において学修指導が行われていると認定した短期大学・高等専門学校の専攻科の修了見込者に対する学士の学位授与の特例制度に基づく学位取得者数を含む。

学士取得者からのメッセージ

学びのワクワクを大学院でも

〈学士(理学)〉

私の最終学歴は専門学校卒でしたが、医科学系大学院に進学してバイオマーカーの研究者になりたいと考え、大学院入試の受験資格を得るため、専門学校の単位に大学の専門科目の単位を積み上げて学士の学位授与と申請をしました。大学理学部化学科での学びは、無機化学、有機化学、物理化学、生化学と多岐にわたり、どれも興味深くワクワクしながら通う毎日でした。

学修成果レポートは、あれもこれもと欲張らず、生物化学の講義で学んだ創薬に関する内容に絞り、そこに他の講義での学びを結び付けて考察するという方法で作成しました。大学院の中には、学士相当の学力を有する者に入試の受験資格を与えられる場合もありますが、大学改革支援・学位授与機構の学士の学位は大学院にも通用する受験資格となるので、大学院進学を目指す方はぜひ学士の学位取得に挑戦してください。



学びたい気持ちがあれば、いつでも、いくらでも！ 〈学士(看護学)〉

息子の受験のタイミングで自分も一緒に勉強してみようと思い立ち、大学の通信教育部看護学コースの科目履修生になりました。仕事はフルタイムでしたが、1年で学位申請まで行うことを目標にしていたため、帰宅後や休日に勉強時間を捻出し頑張ってきました。大変ではありましたが、日々の学習の中で先生からレポートを褒めていただき、スクーリングでは看護職の仲間とグループワークで意見交換ができるなどエネルギーがもらえる楽しい時間でもありました。学修成果レポートの完成、小論文試験、そして合格できたこと、全て私の宝物です。

何歳になっても学びたい気持ちがあれば、いくらでも学べるのが実感できました。今後も学びは続いて行くと思います。費用や時間で学位取得を迷われている方がいましたら、この制度を是非お勧めしたいです。



夢の実現に向けて大きな一歩を！

〈学士(芸術学)〉

絵を描いて生きていくことが幼い頃からの夢でした。そのための勉強をずっと独学で続けてきましたが、50歳を機に思い切って芸術短期大学に入學して卒業。さらに認定専攻科も修了し、学士の学位を取得しました。短期大学などで学ぶ日々は新鮮で刺激に満ち、たくさんの出会いがありました。体力的にはきつく大変でしたが、得るものは大きかったと思います。個展やグループ展など発表の機会にも恵まれました。今後は大学院への進学も視野に入れながら、制作・発表活動を続けていきたいと考えています。

夢はあきらめない限り決して消えることはありません。いくつになっても遅くはないのです。夢の実現に向けて勇気ある大きな一歩を踏み出してください。



学士取得までのプロセス

- ・専門学校修了
- ・短期大学卒業
- ・高等専門学校卒業
- ・高等学校等専攻科修了
- ・大学中退等

大学等で
単位修得*

学修成果の
作成

申請書類の
提出

試験

合格
通知

修得単位

申請する専攻の区分の基準を満たすように単位を修得する必要があります。

*大学等で修得する単位とは

- 大学の科目等履修生等
- 短期大学専攻科 ※
- 高等専門学校専攻科 ※
- 大学の専攻科

で修得した単位を指します。

※当機構が認定する専攻科 (注)



すべての審査に
合格すれば

学士取得

※平成29年度から、学士の学位を取得した者のうち、生涯学習に努め、特に精励したと認められた者若干名に対し、機構長より表彰状が授与されることとなりました。

学修成果

申請する専攻の区分に即したテーマ（課題）についてのレポートを提出します。

*専攻の区分「音楽」・「美術」・「演劇」の申請者はレポート以外の学修成果（演奏を収録したDVD、作品など）を提出することができます。

試験（小論文または面接）

学修成果が学力として定着しているか、申請した専攻の区分において学士の水準の学力を有しているかをみるために、提出した学修成果に関連する事項について、小論文形式の試験を受ける必要があります。

*「音楽」・「美術」・「演劇」の専攻の区分において、レポート以外の学修成果を提出した場合は面接試験を受けることとなります。

興味を持ったら...

機構では、学士の学位取得をめざす方を対象とした説明会を開催しています。当日は個別相談会も実施しております。詳細は開催が決まり次第、機構及び放送大学のウェブサイトに掲載しますので、興味をお持ちの方は是非ご参加ください。

《合同説明会の開催実績》

2019年2月 東京（放送大学東京文京学習センター）

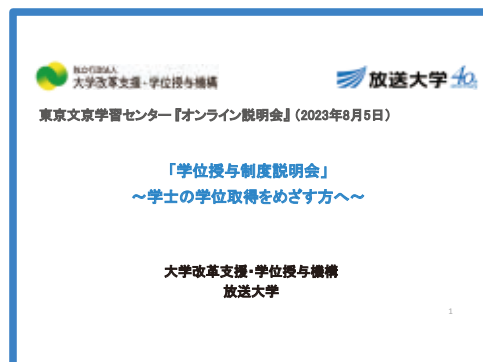
2021年6月 オンライン説明会

2022年6月 オンライン説明会

2023年8月 オンライン説明会

《オープンキャンパス時の学位取得説明会》

2018年9月 大阪（放送大学大阪学習センター）



※機構と放送大学は、生涯学習社会における高等教育の推進という共通の目的の下、相互に協力していくための協定を締結しており、その一環として合同で説明会を開催しています。

(注) 当機構が認定する専攻科を設置している私立短期大学又は私立高等専門学校は、私立大学等経常費補助金（教育組織の高度化支援）の対象となります。

《申請資格》

学位授与制度を利用できる人※ (基礎資格を有する者)		基礎資格取得後に 必要な学修期間及び単位数
第1区分	2年制専門学校修了者 *1 2年制短期大学卒業生 高等専門学校卒業生 高等学校等専攻科修了者 *2 等	大学等で2年以上 62単位以上
第2区分	3年制専門学校修了者 *1 3年制短期大学卒業生 *3 等	大学等で1年以上 31単位以上
第3区分	大学に2年以上在学し62単位 以上を修得した者 等	大学等で4年以上 124単位以上 〔左記の大学に在学した期間 および修得した単位を含む〕

※ 大学の学部学生として現に在学している者は申請することができません。上記のほか、専門職大学や外国の大学等を修了した方も基礎資格を有する者に該当する場合があります。詳しくは、機構が発行する資料『新しい学士への途』をご覧ください。

*1) 該当する専門学校修了者は、専修学校「専門課程」修了者のことです。

加えて2年制は総授業時間数1,700単位時間以上、3年制は2,550単位時間以上の課程がそれぞれ該当します。

(単位制及び通信制の学科においては、全課程の修了に必要な総単位数が、それぞれ62単位以上、93単位以上の課程)

*2) 該当する高等学校等専攻科修了者は、高等学校、中等教育学校後期課程または特別支援学校高等部の専攻科の修了者のことです。

加えて、修業年限が2年以上で、かつ文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了していることが必要です。

*3) 短期大学で、第2部(夜間)や通信制の場合、3年制でも第1区分に該当する場合があります。

《審査・試験概要》

申請時期	年2回 ● 4月期申請：3月中旬～4月上旬 ● 10月期申請：9月中旬～10月上旬
試験日程	年2回 ● 4月期申請は6月 ● 10月期申請は12月
試験地	東京・大阪
試験の概要	学修成果として、レポート提出者は小論文試験 演奏・創作・作品提出者は面接試験(面接試験は東京会場のみで行います)
審査内容と通知	「修得単位の審査」と「学修成果・試験の審査」 申請から6か月以内に結果を通知
審査手数料	32,000円

◎詳しくは、機構が発行する資料『新しい学士への途』をご覧ください。

ウェブサイト

学位授与事業に関する資料

<https://www.niad.ac.jp/>

トップ → 学位の授与 → 新しい学士への途、申請書類等



『新しい学士への途』
掲載ページ

お問合せ先

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 学位審査課

お問合せ電話番号 ⇒ ☎042-307-1550

受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00(土・日曜、祝日、年末年始を除く)

大学改革支援・学位授与機構は、大学以外で「学士」の学位を授与できる唯一の機関です。

この制度は、短期大学・高等専門学校卒業生、専門職大学前期課程の修了者、高等学校等専攻科修了者、専門学校修了者等が、科目等履修生として大学の単位を修得するなどの方法により一定の単位を積み上げた場合、大学改革支援・学位授与機構の行う審査によって「学士」の学位を取得できる途を開いたものです。(学校教育法第104条第7項に基づき定められた制度です)